

### 3 人を惹きつける地域づくり

#### (3) 観光振興(交流人口の拡大) ②物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

##### 国への提案事項

- 1 広島港・福山港・尾道糸崎港について、宇品地区における自動車産業をはじめとした、地域産業のグローバル化への対応など企業活動を支える物流基盤の充実・強化を図るため、着実な整備に必要な財政措置を行うこと。
- 2 尾道糸崎港・厳島港について、観光・交流の拠点機能の強化を図るため、着実な整備に必要な財政措置を行うこと。
- 3 クルーズ客船の更なる寄港回数増加を図るため、誘致活動に対する助成制度の継続と、CIQ手続きの一層の体制強化を図ること。

##### 提案箇所一覧

| 港名      | 地区名                  | 内容                        | 事業主体 |
|---------|----------------------|---------------------------|------|
| 広島港     | 宇品地区                 | 岸壁(水深10m⇒12m化耐震強化)の整備     | 国直轄  |
| 福山港     | 箕島地区                 | 岸壁・航路・泊地(水深12m)の整備        | 国直轄  |
|         |                      | 船舶の運航効率改善に係る規制緩和(余裕水深緩和等) | —    |
|         |                      | 企業及び地方の負担を軽減する新たな制度設計     | —    |
|         | 福山本航路(水深16m⇒18m化)の整備 | 国直轄                       |      |
| 備讃瀬戸北航路 |                      | 福山港利用のための適正な維持管理(浅所の解消)   | 国直轄  |
| 尾道糸崎港   | 機織地区                 | 泊地(水深7.5m⇒10m化)の整備        | 国直轄  |
|         | 内港地区                 | 緑地等の整備                    | 県事業  |
| 厳島港     | 宮島口地区                | 新ターミナル周辺の港湾施設の整備          | 県事業  |



【提案先省庁:内閣府、出入国在留管理庁、財務省、国土交通省】

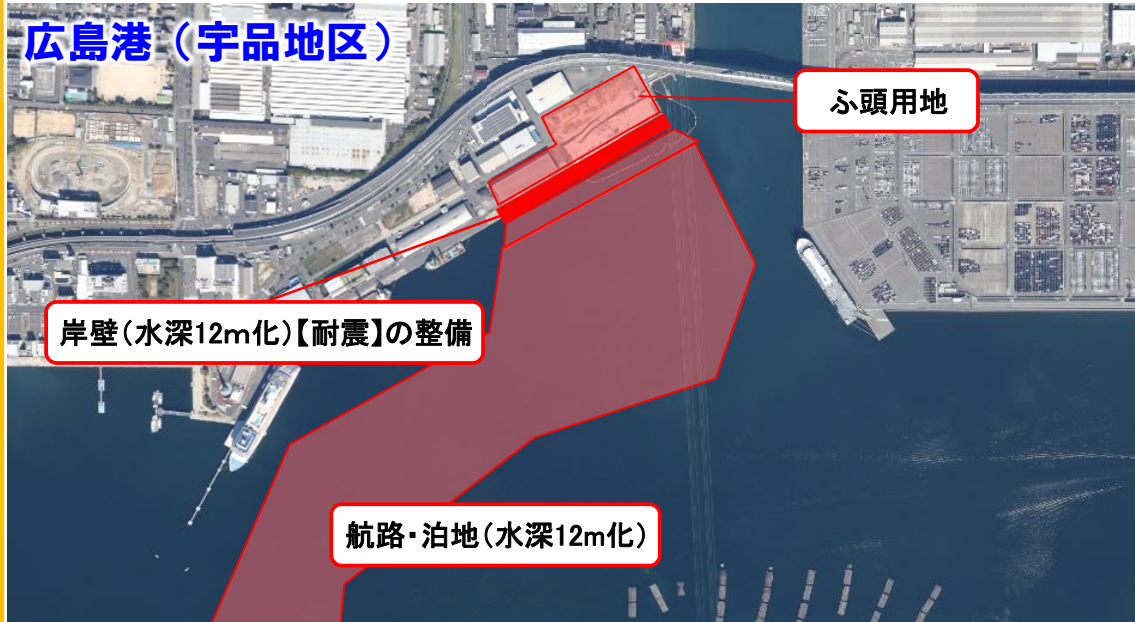
### 3 人を惹きつける地域づくり

#### (3) 観光振興(交流人口の拡大)

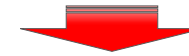
#### ② 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

## 現状・課題

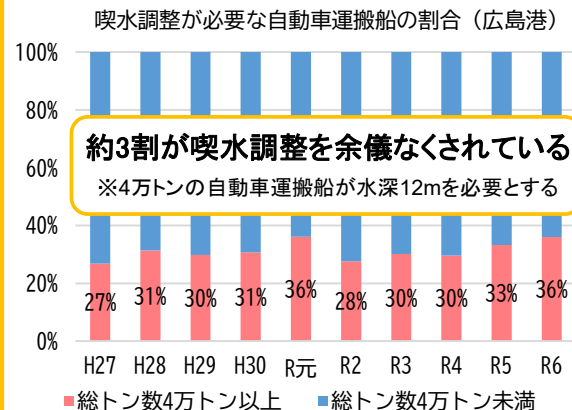
### 1-1 地域の企業活動を支える広島港の物流基盤の充実・強化



- 宇品地区は自動車運搬船が大型化しているなか、岸壁の水深が浅く満載して輸送することが困難なため、喫水調整を余儀なくされている。
- 広島港中央地域において、大規模地震が発生した場合、背後圏住民への緊急物資の輸送及び周辺の産業活動の継続に支障を来すことが想定される。



- ・ 自動車運搬船の大型化への対応  
(非効率な輸送形態の解消)
- ・ 大規模地震発生時の物流機能の確保が必要



3 人を惹きつける地域づくり

(3) 観光振興(交流人口の拡大)

② 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

現状・課題

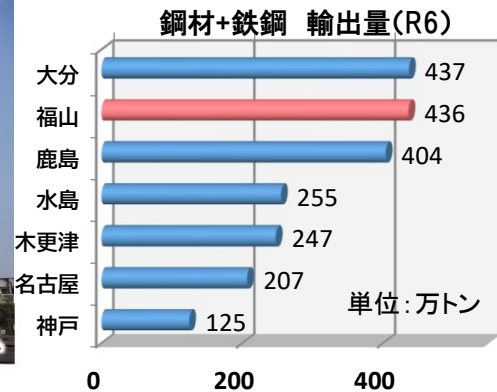
1-2 地域の基幹産業のグローバル化に対応する福山港の機能強化  
国際バルク戦略港湾福山港における効率的な輸送の早期実現

- 箕島地区は、福山港背後の鉄鋼業や造船業において、海外需要の増加に対応するため、遠方地への輸出も強化しており、鋼材や造船関連資材の輸出も増加が見込まれている一方で、新たなバイオマス発電所が令和7年7月に営業運転開始しており、大型船による木質ペレットの輸入も計画されている。
- 箕島地区は令和7年度に水深9.5mで暫定供用を開始したところであるが、現時点においても、鋼材・造船関連資材・木質ペレットともに、大型船対応の岸壁が不足しているため、喫水調整を行うなど非効率な輸送を強いられている。
- 効率的な輸送や船舶の大型化に対応するため、平成30年度に新規事業化された箕島・箕沖地区ふ頭再編改良事業(岸壁、航路・泊地)について、引き続き箕島地区の早期完成が求められている。



地域の基幹産業のグローバル化等への対応が必要

輸出貨物の増加(箕島地区)



### 3 人を惹きつける地域づくり

#### (3) 観光振興(交流人口の拡大)

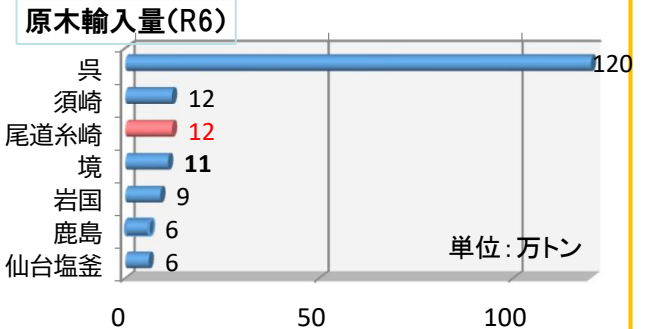
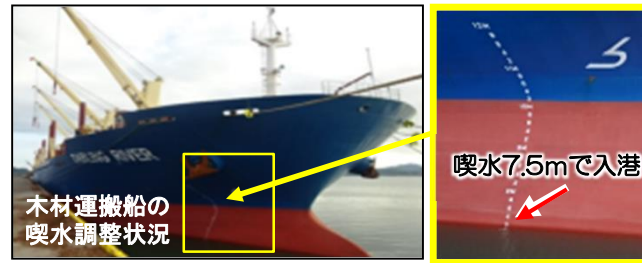
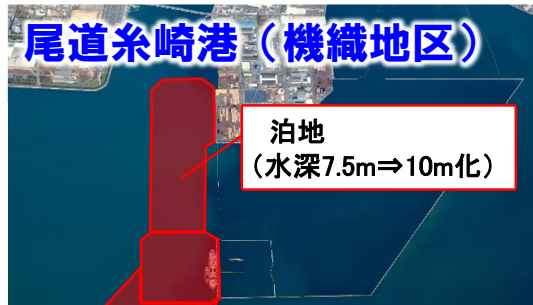
#### ② 物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

## 現状・課題

### 1-3 地域の基幹産業の競争力強化に資する尾道系崎港の航路・泊地整備

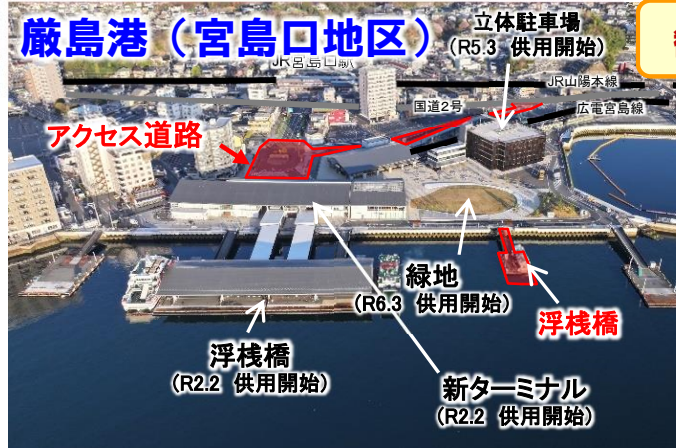
- 機織地区は30,000DWT級の木材運搬船が入港しているが、泊地(整備中)の水深が不足しているため、喫水調整を行うなど非効率な輸送を余儀なくされている。

#### 木材運搬船の大型化への対応が必要(非効率な輸送形態の解消)

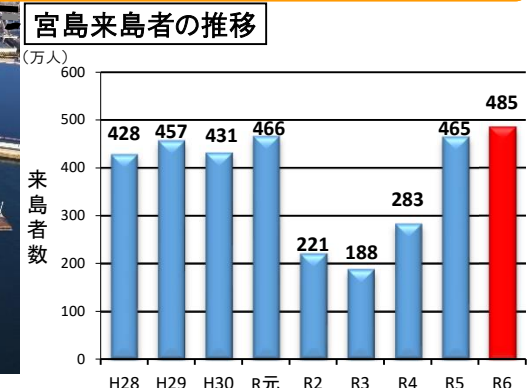


### 2 観光・交流の拠点となる尾道系崎港・厳島港の港湾機能の強化

- 尾道系崎港内港地区は、社会情勢の変化に伴う航路利用者の減少や港湾施設の老朽化、市中心部における港を活用した賑わいの創出や魅力的な都市景観づくりが課題となっている。
- 厳島港宮島口地区の新ターミナルと浮棧橋は、令和2年2月に供用開始し、令和5年3月には立体駐車場とアクセス道路の一部が供用開始している。また、令和6年3月には賑わい創出に資する緑地が供用開始しており、今後、浮棧橋等の早期完成が求められている。



#### 観光客の利便性向上への対応が必要



3 人を惹きつける地域づくり

(3) 観光振興(交流人口の拡大)

②物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

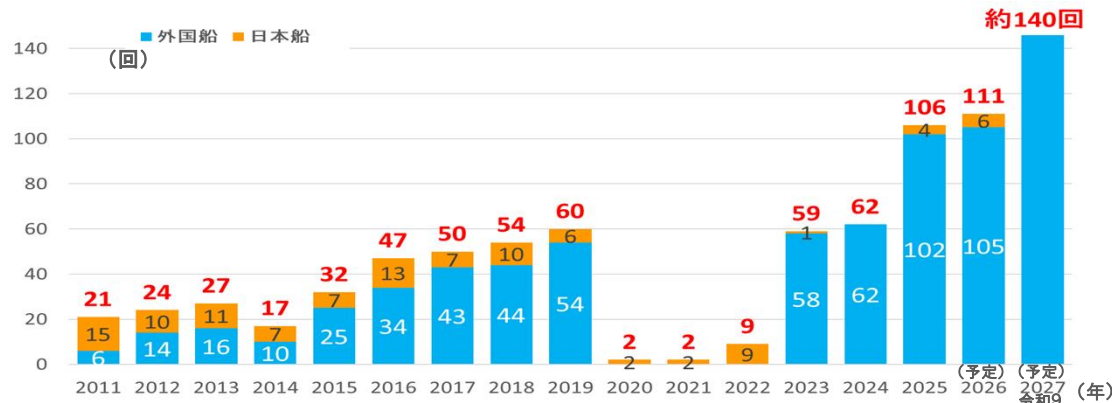
現状・課題

3 クルーズ客船の寄港増加に向けた支援等

- クルーズ客船の更なる寄港回数増加を図るため、誘致活動に対する財政支援や取組の継続が必要。
- 円滑な受入を図るため、出入国審査の時間短縮に向けたシステムの改善・導入や人員確保など、CIQ手続きの迅速化に向けた環境の整備が必要。

広島港のクルーズ客船寄港回数の推移

2025(令和7)年の寄港回数は初めて100回を超え(2025年寄港回数:全国9位)、2026(令和8)年は111回、2027(令和9)年はさらにこれを上回る約140回となる見込み。国の観光立国推進基本計画において、2030(令和12)年までに外国クルーズ客船等の寄港回数3,000回を目指すこととしており、引き続き積極的な誘致活動に取り組む。



寄港増加に向けた誘致活動・受入体制強化



二次交通利用方法案内動画等の制作



海外船社等へのセールス(6港連携事業)



クルーズボランティアセミナー(おもてなし体制の充実)

出入国審査状況



岸壁における客船からCIQ棟までの導線(入国審査)

CIQ棟内の設営状況



出国審査を待つ乗客の列



